

根室市市民意見公募手続（パブリックコメント）実施結果公表

令和2年12月2日

市民の皆さんからいただいたご意見、これに対する市の考え方などを取りまとめましたので公表します。

施策等の名称	根室市新庁舎建設基本計画（案）		
実施期間	令和2年10月26日～11月24日		
意見の件数	8件（3個人、1団体）		
意見の取扱い	修正	案を修正するもの	1件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	0件
	参考	今後の参考とするもの	3件
	その他	意見として伺ったもの	4件
意見の受け取り	郵送		0人
	ファクシミリ		1人
	電子メール		2人・1団体
	直接持参		0人

【意見等の内容】

No.	意見の内容	意見に対する市の考え方 (修正した場合は、その内容と理由)
1	駐車場のほぼ全体に屋根を付けて太陽光発電パネル（可能であれば屋根そのものが太陽光パネルでできており、可動できるもの）を設置し、電気代の節約を図っていただきたい。また、屋根のある駐車場は、春から秋までは避難場所や対策本部、ボランティアの受付場所などとしても活用できると思う。また、冬は非常時の利用を考え、簡易的な外壁を設置できるとよい。	【その他】 大型車両が出入りすることも考え、駐車場へ屋根を設置する予定はありませんが、新庁舎の建設にあたり、環境負荷の低減は、大変重要なテーマの一つであり、太陽光パネルについては設置する必要があると考えております。設置場所については、屋上等を考えていますが、詳細については、今後、基本設計において検討を進めていきます。また、災害時に参集する災害関係車両の駐車スペースを確保するとともに、駐車場の有効な活用方法を検討していきます。
2	入口から福祉課窓口、エレベーターやトイレまでの動線に視覚障がい者が移動対応できる点字ブロックを設置していただきたい。車いすなどへの配慮で設置できない場合は、視覚障がい者用歩行誘導マットの設置を検討いただきたい。	【参考】 視覚障がい者が安全に移動するための対応は必要と考えております。視覚障がい者用歩行誘導マットの導入も含め、点字ブロックの設置場所等については今後、検討を行います。

3	<p>聴覚障がい者は、音声の放送やサイレンが聞こえないため「デジタルサイネージ（電子掲示板）のアナウンス放送の文字表示」や「緊急時、災害時を光で知らせる警告灯や電子掲示板等の設置」など、音声情報の視覚化、文字表示をお願いしたい。</p> <p>また「サインや誘導案内の工夫」では、触知案内図や音声案内といった視覚障がい者向けの案内方法が記載されているが、聴覚障がい者に向けた案内方法の記載がないので、具体的な内容を検討しているのであれば、記載いただきたい。</p>	<p>【修正】</p> <p>聴覚に障がいがある方へ配慮した適切な誘導案内、情報の伝達は必要だと考えております。いただいたご意見を踏まえ、P21「サインや誘導案内の工夫」の「<u>触知案内図や音声案内など、視覚や聴覚に障がいのある方にも分かりやすい誘導案内について検討します。</u>」を「<u>触知案内図や音声案内のほか、デジタルサイネージの文字放送や、避難誘導灯（フラッシュライト等）など、視覚や聴覚に障がいのある方にも分かりやすい誘導案内、情報伝達について検討します。</u>」に変更します。</p>
4	<p>整理番号発券機の設置については、とても良いと思うが、聴覚障がい者用に、番号表示板の設置と合わせて、振動式の呼び出し機があれば良いと思う。</p>	<p>【参考】</p> <p>聴覚に障がいのある方の利便性を考慮し、整理番号発券機の設置と合わせ、今後、検討を行います。</p>
5	<p>新庁舎の想定規模（7,000 m²～7,500 m²）が大きすぎる。</p> <p>現庁舎は 4912.43 m²で 1973 年に建てられた、その時の人口は 44,856 人。建物耐用年数は 50 年、その半分の 25 年後には根室市の人口は 13,210 人（国立社会保障・人口問題研究所地域別推計値）。</p> <p>耐用年数半分経過時ですら人口が 1/3 になるのに現庁舎の 1.5 倍の広さの市庁舎が必要なのか、納得のいく説明がない。</p>	<p>【その他】</p> <p>新庁舎に必要な面積の算定にあたっては、総務省、国土交通省の基準に基づく算定や、近年建設された道内の庁舎の規模を目安に検討をしております。十分な通路幅の確保やエレベーターの設置、各階への多目的トイレの設置などユニバーサルデザインの考えに基づいているほか、災害時の対応として、非常用発電施設や受水槽、リエゾンの活動場所となる災害対策室など、これまでの庁舎には無かったスペースもあり、面積は増加しておりますが、ご意見のとおり人口減少の影響等を考慮したコンパクトな庁舎の必要性は認識しており、今後もできるだけ面積を抑制できるよう、さらなる精査を行います。</p>

<p>6</p>	<p>予算規模（53.4～58.5億円）が大きすぎる</p> <p>①当初は32億円くらいで25億円程度のリフォーム案をつくり比較して、建て替え案へ誘導したが、いつの間に20億円以上もアップしたのか。市立病院建て替えのときは予算見積もり時よりもさらに数億円アップしており、根室市の予算はいい加減すぎる。氷見市は新築だと29億円の予算だったものが、県立高校体育館・校舎を利用したのリフォーム案だと11億円で、18億円の予算削減をして、2015年に市庁舎移転の取り組みに対して第9回ファシリティマネジメント大賞が贈られている。根室市議は一人も氷見市に調査に行っていないようだが、市役所の担当部署は現地へ行って調べているのだろうか。平成26年12月末現在で、全国の自治体から2300人を超える人が視察に訪れている。</p> <p>②58.5億円/7500㎡=78万円/㎡ 坪単価にすると257万円となり坪単価が異常に高すぎる。大理石の庁舎でも建てるつもりなのか。民間企業の建物ならRC造外断熱仕様で100-120万円くらいが妥当な金額だと思う。</p>	<p>【その他】</p> <p>新庁舎建設に係る概算事業費については、庁舎本体の建設費を道内の庁舎建設事例を参考に、1㎡あたりの建設費を57万円～60万円と設定しているほか、外構工事費や現庁舎の解体・改修工事費、移転費や備品購入費などを含めて積算しておりますが、近年の建設費の上昇を考慮すると、面積当たりの建設費の見込みは妥当であると認識しております。建設費は今後も上昇が続くと見込まれておりますが、構造や設備においてコストを削減できる手法を検討するなど、建設費の削減に努めます。</p>
<p>7</p>	<p>外断熱仕様にすべき。</p> <p>耐用年数が半分経過した時点ですら、根室市の人口は現在の半分となる。職員数も減らすべきなので、庁舎内は「スカスカ」になる。外断熱仕様にすれば暖房費は1/3くらいで済むのではないか。</p> <p>将来、根室市役所職員が寒いところで仕事をしなくて済むよう、暖房費予算が少なくて済むように手が打てるだから、外断熱にすべき。RC造で外断熱だと1割程度建築費がアップするが、市役所庁舎はしっかりした岩盤の地層なので、免振装置は必要なく、免震構造をやめれば捻出できる。</p>	<p>【参 考】</p> <p>省エネルギー化を推進する上でも、冷暖房負荷の抑制に努めることは重要と考えており、ご意見のありました外断熱工法の採用についても検討している状況にあります。</p>

<p>8</p>	<p>新庁舎建設の代替案</p> <p>①北斗小学校（耐震改修済み）校舎を11億円かけてリフォームして20年間使用する。</p> <p>②2035年に市民自由参加のオープンな議論の場を用意して、建物の規模、仕様、予算を決定する。</p> <p>③人口規模にふさわしい、コンパクトな市庁舎を2040年に建てる。</p> <p>3500-4000㎡、半分の規模になると思われる。</p>	<p>【その他】</p> <p>現在、主な財源として、公共施設等適正管理推進事業債（市町村役場緊急保全事業）の活用を予定しております。同起債は、令和2年度中に実施設計に着手することを条件とした時限付きの措置であります。国からの交付税措置（充当率90%、措置対象分75%、交付税措置率30%）を受けることのできる有利な制度であります。現庁舎は震度6強程度の地震で倒壊の恐れがあることから、喫緊に防災拠点施設として庁舎の建替が必要と判断したものであり、現時点での延期については想定しておりません。</p>
----------	---	---